

深川の学習の手引き

江東区深川江戸資料館

今回は、深川の歴史を調べてみようとする方のために、参考となりそうな主な資料や刊本を中心に紹介します。

1. 江戸の古地図・切絵図

深川を調べるのに、成立の背景や位置を確認する必要があります。古地図・切絵図はその作業を行う手助けとなります。

『日本地図選集』（人文社）

天保14年の御江戸大絵図をはじめ、江戸時代各年代の古地図を見ることができます。

『江戸古地図集』『続江戸古地図集』（古地図史料出版）

寛永頃より明治の初年まで、多岐に渡って収録されています。地図ごとにそれぞれ解説が付いています。

『古地図』（古地図史料出版）

9枚組で、文政・嘉永・弘化の地図や立体的に描かれた「増補江戸名所古跡神社仏閣独案内図」なども含まれています。

『江戸切絵集成』（中央公論社）

定番といえる近江屋・尾張屋版に、平野屋・古文字屋版の切絵図を掲載。刊行年譜や図中記事の他、巻末に切絵図に関する解説があります。

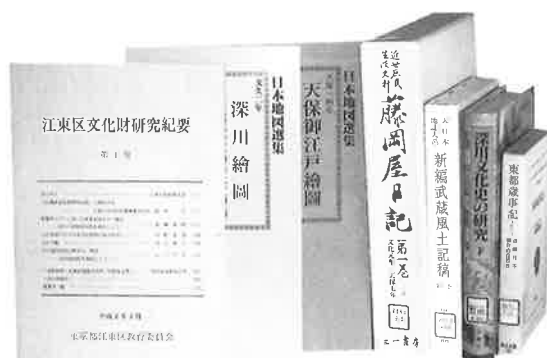
以上ご紹介したものは全て複製原寸大ですが、ぜひ本物をとという方は、神田古書店街などで入手が可能なものもありますので、一度行かれてみてはいかがでしょうか。

2. 江戸時代の書物

江戸時代を描いた地図の他に、名所や行事などをテーマにした書物が数多く出版されました。ここではそれについて紹介します。

『江戸名所図会』（角川書店）

天保年間に刊行された江戸の名所を豊富な挿絵



とそれに関する記述をリアルに表現したもので、当時の庶民の暮らしぶりや風俗など興味深く伺い知ることができます。

『守貞漫稿』（東京堂出版）

幕末の随筆で、作者は喜田川守貞。自ら見聞した記録的な絵入本で、江戸の風俗などを知るのに便利です。

『絵本江戸風俗往来』東洋文庫（平凡社）

江戸時代の年中行事について書かれたもので、月日別にそれぞれ詳細な記述があり、所々に参考となる絵が載せられています。

『東都歳事記』東洋文庫（平凡社）

江戸市中の年中行事を正月から順に追い記述したもので、豊富な絵の他、詳細な解説も付いています。

『耳袋』東洋文庫（平凡社）

作者は根岸鎮衛^{やすもり}。巷での古老談や訪問客の雑談を集めたもので、説話集的なものです。

『藤岡屋日記』(三一書房)

藤岡屋由歳が記した日記。幕府の正式記録から諸役人の書簡や江戸の町々で生じた小さな事件まで多種多様に記述しています。天保より維新までの情勢を知るうえで貴重な史料といえます。

『武江年表』東洋文庫(平凡社)

徳川家康の江戸入りから嘉永元年までを収録したもので、江戸の社会風俗世相を知るのに便利。

『地誌解題 総集編』(東京都)

東京都公文書館が所蔵する江戸に関する地誌について、わかりやすく解説をしています。江戸時代にどのような地誌が書かれたか、またその内容について記述しています。

『新編武蔵風土記稿』(雄山閣)

江戸の各町々の起立とその変遷について、幕府が編纂したもので、江戸の町やその土地の伝承などを調べるのに便利です。

3. 江東区刊行物関係

江東区より刊行している図書について紹介します。これらは区教育委員会及び広報課の他、芭蕉記念館や江戸資料館でも一部取扱っています。

『深川文化史の研究』上・下

深川の文化について、テーマ別に論じた研究書です。下巻では、深川成立史や描かれた深川などをテーマにした論文もあり、興味をそそられます。

『江東事典(史跡編)』『史跡をたずねて』

区内に点在する史跡のガイドブック。簡単な解説と図を入れています。実地踏査するのに便利。

『江東区文化財研究紀要』

江東区の文化財に関する専門的な学術誌で、年1回刊行されています。

『下町文化探訪』

区内の史跡めぐりについて、地図やコースを付して発行されたガイドブックです。

『江東区の文化財』

区の登録文化財を1件ごとに写真入りで紹介したもので、史跡・有形文化財などを収めています。

『寛永録・牧野家文書』

区内関係の古文書(史料集)で、区に残る唯一の史料として大変貴重なものといえます。

なお、平成9年3月に新しい『江東区史』の刊行を予定しています。最新の研究成果が盛り込まれていますので、参考にして下さい。

4. その他参考となる資料

今までに紹介してきた資料の他に、深川の歴史を調べるのに参考となる図書について述べてみましょう。

『復元江戸情報地図』(朝日新聞社)

幕府の資料に基づいて歪みのない作図を行って現在の地図を重ねたもので、江戸と現在の比較が容易にわかるようになっています。

『江戸学事典』(弘文堂)

江戸時代についてあらゆる事柄について記載されている。深川についても、各項目別に参考文献をあげながら、図版入りで解説されています。

『江戸東京学事典』(三省堂)

江戸と東京について、都市文化や日常生活全般など、項目別に詳しく書かれています。また、図や表なども充実しており便利です。

『日本随筆大成』(吉川弘文館)

曲亭馬琴や山東京伝、菱川師宣ら多数の随筆を一同に集めた全集本で、第一期から三期に渡り収録されています。

『角川日本地名大辞典』(角川書店)

特に深川の町名の歴史と変遷について詳しい。

さらに、巻末などに掲載された参考文献をあたってみるにより、知識や研究方法が広がっていきます。また、深川図書館郷土資料室には深川関係の図書が豊富にありますので、併せて利用されることをお勧めします。